



## 第48期 中間報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日

**MOBILE SPACE** by 三協フロンテア



**GOOD DESIGN  
AWARD 2016**

モバイルスペース **MS1**  
グッドデザイン賞 受賞



東証JASDAQ上場

証券コード 9639

## 基本理念

### 目的（存在理由）

### 社会への貢献

わたしたちは  
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、  
よって社会に貢献することを目的とします。

### 基本的価値観（不変の主義）

#### 1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、  
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

#### 2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、  
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

#### 3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々<sup>\*</sup>に対し、  
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

※「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー  
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

## 10年ビジョン（2008年4月～2018年3月）

### 技術力と収益力において

世界一のモバイルスペースメーカーになり、  
資源循環型ビジネスにより社会へ貢献する。

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに第48期中間(平成28年4月1日～平成28年9月  
30日) 報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(当上期)における日本経済は、  
政府による積極的な経済政策や金融緩和政策などを背景と  
して、企業収益や雇用所得情勢が堅調に推移しており、景気  
は緩やかな回復基調が続いています。

政府の経済政策への期待が高まる一方で、円高の進行や  
中国をはじめとする新興国の景気減速、英国のEU離脱問題  
など海外経済の不確実性の影響もあり、今後の景気の先行  
きには留意する必要があります。

ユニットハウス業界においては、企業収益の改善や補正予

算の執行を受けた公共投資の増加等、建設投資は堅調に推  
移しており、需要の高い状態が継続していますが、建設市場  
の需要拡大が建設労働者の人材不足を後押ししており、先行  
きは楽観視できない状況となっています。

このような情勢の中、当社は、熊本地震の被災地域におい  
て、約350戸の応急仮設住宅を建設しました。そのほか震災  
復興に伴う仮設現場事務所や仮設店舗などの建設需要に優  
先的に対応し、早期復興に向けた取り組みを進めています。  
また、全国的に生産及び物流拠点の設備拡充を行い、需要  
増加に対応できる体制を整えるなど、供給体制の強化を図  
っています。

「必要なとき、必要なだけ、必要な空間を提供する」こと  
により、当社のユニットハウスは従来の仮設建築市場のみなら  
ず、本建築市場、不動産市場にまでその優位性を十分に発  
揮できるものであると確信しています。“建築の工業化”とい  
う当社のコア技術をさらに高めていくことにより、新たな市場  
の開拓を図っていく所存です。

今後も創業当時から受け継がれてきたフロンティアスピリッツ  
(開拓の精神)を原点に、社会に貢献する会社を目指し、情熱  
を持って活動してまいります。

### 当上期の業績について

ユニットハウスのレンタルにおいては、熊本地震における応  
急仮設住宅をはじめとする復興工事等に優先的に対応し、被  
災地域の早期復興に全力で取り組むとともに、堅調な民間建  
設投資の影響により、出荷棟数・稼働棟数ともに前年を上回  
る高水準となりました。また、デザイン性や機能性をさらに高  
めることで、大型物件やイベント、建替需要など本建築市場

におけるレンタル受注拡大に努めました。

ユニットハウスの販売においては、展示場を新たに9店舗  
出店し、販売チャネルの拡充に努めるとともに、旺盛な本建  
築需要に対応するため、全国的に設計・施工協力会社のネッ  
トワーク拡充に努め、店舗・一般事務所といった本建築物件  
の受注体制をさらに強化することで、より一層の収益の拡大  
に努めました。

トランクルームのレンタルにおいては、新たに22店舗出店  
し、営業拠点の拡充を図るとともに、WEB広告等を強化し、  
稼働率の向上を図ってまいりました。

上記の結果、当上期の連結売上高は18,445百万円(前年  
同期比21.8%増)となりました。

利益面においては、営業利益2,918百万円(前年同期比  
56.4%増)、経常利益2,920百万円(前年同期比56.8%  
増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,520百万円(前  
年同期比43.6%増)となりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、  
期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の拡大に  
努めてまいります。

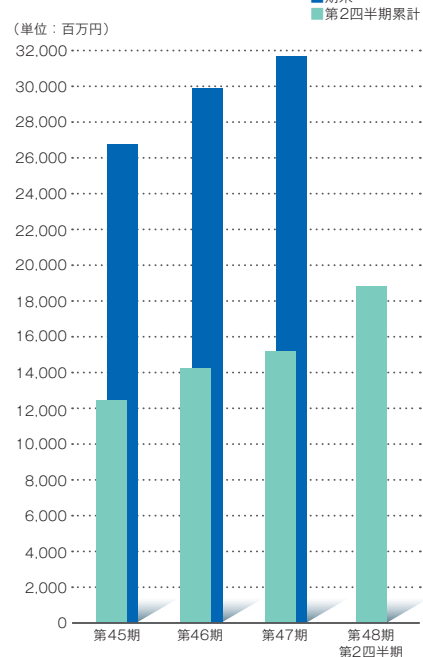
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導  
ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成28年9月  
代表取締役社長 **長巻貴嗣**

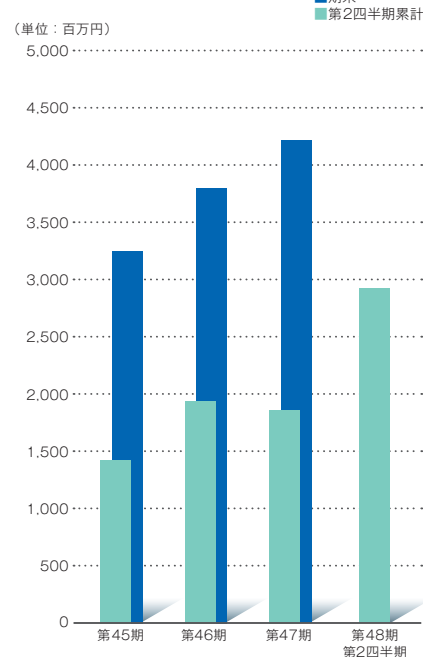
## 業績ハイライト(連結)

区分	期別	第45期 (平成26年3月期)	第46期 (平成27年3月期)	第47期第2四半期 (平成28年3月期)	第47期 (平成28年3月期)	第48期第2四半期 (平成29年3月期)
売上高(百万円)		26,747	29,844	15,144	31,803	18,445
経常利益(百万円)		3,244	3,793	1,862	4,205	2,920
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		2,051	2,273	1,059	2,567	1,520
1株当たり当期純利益(円)		92.28	102.27	47.64	115.48	68.42
総資産(百万円)		47,743	51,906	53,180	52,958	54,559
純資産(百万円)		21,419	23,101	23,851	24,862	25,936

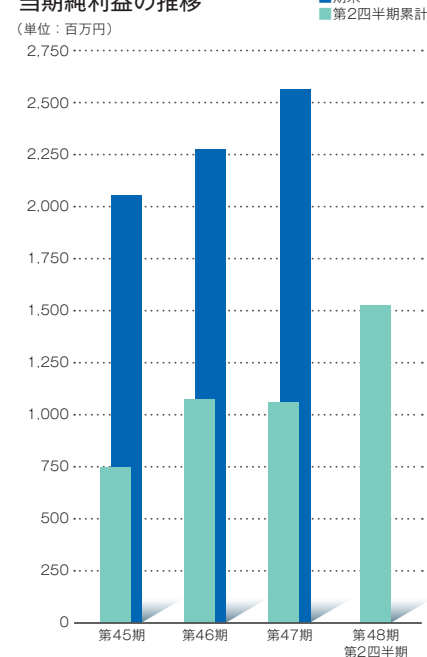
### 売上高の推移



### 経常利益の推移



### 親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

## 各事業の概況

### ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能。  
建設現場からイベント、仮設住宅まで。  
必要な期間に最適な空間を提供します。

ユニットハウスのレンタルについては、熊本地震における応急仮設住宅や復興工事等に優先的に対応し、早期復興に向けて全力で取り組みました。また、デザイン性や機能性を高めることで、大型物件やイベント、建替需要などの本建築市場でのレンタル受注拡大に努めました。

これらの結果、当上期のレンタル料収入は11,291百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

今後も、建設現場向けのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客獲得に向けた営業を強化していきます。



建設現場事務所



自動車販売仮設店舗

### ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など  
全国のさまざまなシーンで  
ユニットハウスが活躍しています。

ユニットハウスの販売については、旺盛な本建築需要に対応するため、全国的に設計・施工協力会社のネットワーク拡充に努め、店舗・一般事務所といった本建築物の受注体制を強化することで、より一層の収益力の向上を目指しました。

これらの結果、当上期の販売売上高は6,831百万円(前年同期比21.1%増)となりました。

今後も市場ニーズに合わせた製品開発に取り組むとともに、展示販売の強化や販路の拡大を推進していきます。



会社事務所



フラダンス教室



## 熊本地震～復興への取り組み～

この度の熊本県で発生した地震により被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災された方々の一日も早い復旧と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。熊本地震からの復興に向けて、当社は、被災地での応急仮設住宅や幼稚園、校舎などの建設に取り組んでいます。当社が建設したユニットハウス建築物の施工例をご紹介します。

### ■ 応急仮設住宅の建設

平成28年4月14日、熊本県益城町で震度7を観測する大地震が発生しました。この地震により、熊本県の住家の全壊・半壊の被害は約4万棟にもおよび、多くの人々が被災されました。

当社は、自治体の要請を受け、直ちに現地に赴き、約350戸の応急仮設住宅の建設に着手しました。

応急仮設住宅建設に際して、当社のユニットハウスの特長を活かしたスピード施工はもちろんのこと、品質に関しても、完了検査の際には県のご担当者様にもご好評いただいています。被災者の方に、「同じものがほしい」といっていただけることもありました。

被災者の方々に速やかに快適な住空間を提供し、少しでも熊本の復興の足掛かりとなるよう尽力しています。



宇土市 境目児童公園



大津市 岩坂町有地



大津市 岩坂町有地に建設した応急仮設住宅の内部（左：キッチン、中：和室、右：洋室）

### ■ ユニットハウスの建築

住宅に加えて、公共の建物の多くが被災して使えなくなり、臨時的施設が必要とされました。当社では、幼稚園や校舎、店舗、事務所など、期間限定で必要となる建物の建築を請け負っています。

#### 施工例① 第二さくら体育幼稚園

園舎が地震で破損し使用できない状況の中で、園には保護者から「早く幼稚園を再開してほしい」との要望が相次いでおり、当社へ急いで仮設園舎を建てたいので協力していただけないかとの要請がありました。少しでも被災者に寄り添い、園児が元の生活に戻れるようにとの想いのもと、ユニットハウスによる仮設園舎を建築しました。



CT-54J 13連棟2セット 26棟

第二さくら体育幼稚園  
井島 竹男 様



三協フロンテアとお付き合いすることは、初めてでしたが、東日本大震災での御社の素早い対応を聞いていましたし、また県からの推薦もあったので、安心して仮設園舎の依頼をしました。園舎が建ち、園児の笑顔が戻ってきました。ありがとうございました。

#### 施工例② 崇城大学



学校法人君が淵学園  
崇城大学  
祖父江 祐二 様

地震後は自宅待機となり、実家に戻る学生が多い状況の中で仮設校舎が建ち、授業も再開できました。今まで以上に学生同士の結束が強くなったと感じます。ありがとうございました。

に学生同士の結束が強くなったと感じます。ありがとうございました。

株式会社秀拓様より、熊本地震で菊陽町の崇城大学空港キャンパスが使用できなくなったため、一日も早く仮設校舎を建ててほしいとの要請を受け、当社で教室棟・実習棟等を建築しました。当社の基本理念でもあります「社会への貢献」に、今後も継続的に取り組んでまいります。



CT-72J 52棟

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

	第48期第2四半期 (平成28年9月30日)	第47期末 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>14,312,648</b>	<b>12,779,253</b>
現金及び預金	3,055,359	2,813,454
受取手形	1,139,712	929,686
営業未収入金	5,733,546	3,831,887
売掛金	1,460,015	2,044,488
棚卸資産	2,403,381	2,576,107
その他	545,876	608,032
貸倒引当金	△25,243	△24,403
<b>固定資産</b>	<b>40,246,401</b>	<b>40,179,660</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>38,840,954</b>	<b>38,773,189</b>
レンタル資産	21,763,533	21,670,249
建物及び構築物	4,774,268	4,801,017
土地	9,481,842	9,481,842
その他	2,821,310	2,820,081
<b>無形固定資産</b>	<b>257,340</b>	<b>260,636</b>
投資その他の資産	1,148,106	1,145,833
<b>資産合計</b>	<b>54,559,050</b>	<b>52,958,913</b>

(単位：千円)

	第48期第2四半期 (平成28年9月30日)	第47期末 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>14,847,024</b>	<b>13,008,335</b>
支払手形	347,295	185,156
電子記録債務	4,554,055	811,190
買掛金	1,073,362	2,761,077
短期借入金	3,496,796	2,550,340
未払費用	1,575,883	2,884,581
未払法人税等	1,026,295	961,672
賞与引当金	412,170	389,273
その他	2,361,165	2,465,042
<b>固定負債</b>	<b>13,775,037</b>	<b>15,087,895</b>
長期借入金	10,972,174	12,102,172
役員退職慰労引当金	96,400	208,141
退職給付に係る負債	982,427	952,392
その他	1,724,036	1,825,189
<b>負債合計</b>	<b>28,622,062</b>	<b>28,096,231</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>26,004,570</b>	<b>24,873,970</b>
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,776,663	2,776,663
利益剰余金	21,994,127	20,862,232
自己株式	△311,669	△310,375
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△67,582</b>	<b>△11,287</b>
その他有価証券評価差額金	3,560	6,084
為替換算調整勘定	30,674	101,421
退職給付に係る調整累計額	△101,817	△118,793
<b>純資産合計</b>	<b>25,936,987</b>	<b>24,862,682</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>54,559,050</b>	<b>52,958,913</b>

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

	第48期第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	第47期第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	18,445,381	15,144,629
売上原価	11,071,617	9,144,163
売上総利益	7,373,763	6,000,466
販売費及び一般管理費	4,455,300	4,134,041
営業利益	2,918,463	1,866,425
営業外収益	52,576	69,502
営業外費用	50,281	73,574
経常利益	2,920,758	1,862,353
特別利益	13,809	2,049
特別損失	420,373	8,248
税金等調整前四半期純利益	2,514,193	1,856,155
法人税等	993,274	797,142
四半期純利益	1,520,919	1,059,012
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,520,919	1,059,012

## 四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	第48期第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	第47期第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,520,919	1,059,012
その他の包括利益	△56,295	25,081
四半期包括利益	1,464,624	1,084,094

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

	第48期第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	第47期第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,273,553	493,819
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376,141	△532,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△627,341	343,095
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,165	3,399
現金及び現金同等物の増減額	241,904	308,201
現金及び現金同等物の期首残高	2,633,454	2,395,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,875,359	2,704,131

## 企業の概要 (平成28年9月30日現在)

商号	三協フロンテア株式会社
本社所在地	〒277-8539 千葉県柏市新十余二5番地
資本金	15億4,545万円
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣
設立	昭和44年12月5日
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル 4. 植物工場の製造・販売・レンタル
役員	代表取締役社長 長妻 貴嗣 常務取締役 端山 秀人 取締役執行役員 三戸 茂夫 取締役執行役員 藤田 剛 取締役執行役員 小嶋 俊一 常勤監査役 村井 康之 監査役 上田 俊郎 監査役 重田 龍男 監査役 山崎 直人

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-26)第18154号  
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1204-1483号

## 株式の状況 (平成28年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	23,356,800株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	1,618名 (平成28年3月末比 14名増)
大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	11,233	48.09
長妻 貴嗣	3,314	14.19
長妻 和男	648	2.78
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	444	1.90
三協フロンテア従業員持株会	342	1.47
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.85
(株)千葉銀行	195	0.84
長妻 幸枝	180	0.77
日本生命保険相互会社	162	0.70
内田 正美	151	0.65

※当社は自己株式を1,128千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

## 株主メモ

事業年度  
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会  
毎年6月

期末配当金受領株主確定日  
3月31日

中間配当金受領株主確定日  
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法  
電子公告 (URL <http://www.sankyofrontier.com/>)  
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所  
東京証券取引所 JASDAQ スタンダード

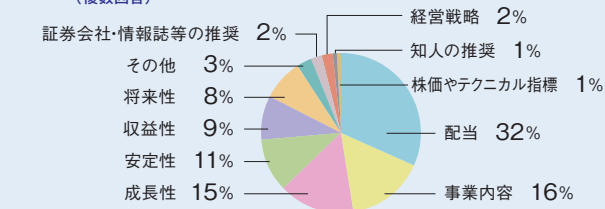
### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

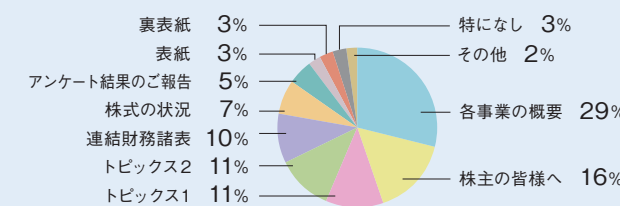
## アンケート結果のご報告

「第47期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。146名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしてまいります。

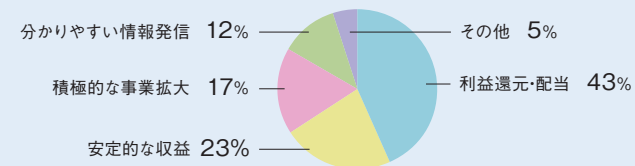
### Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。 (複数回答)



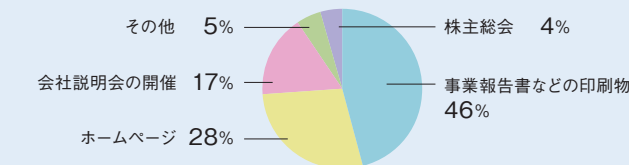
### Q2 事業報告書の内容で最も興味深かった内容は何ですか? (複数回答)



### Q3 今後、当社に望まれることについてお聞かせください。 (複数回答)



### Q4 今後、当社のIR活動について、充実してほしいことをお聞かせください。





# イベント出展情報！事業拡大中！

～ビッグサイトや幕張メッセで開催されたイベントに当社も出展しました～

## GPEC 施設園芸・植物工場展 2016

施設園芸・植物工場の専門展示会である「施設園芸・植物工場展」に出展しました。本展示会は2016年7月27日(水)～29日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催され約4万人もの来場がありました。

今回、新規参入検討中の方に向け開発された小型植物工場「やさいばこラボ」を出展、さらに「植物工場のレンタル」という業界ではめずらしいビジネスモデルを提案することで多くの反響があり、日本テレビ「news every.」にも取り上げられました。

本展示会で多くの方々が三協フロンテアの「やさいばこ」に興味、期待を寄せていることが分かりました。期待に応えられるよう、今後とも邁進してまいります。



## ライブ&イベント産業展

幕張メッセにおいて2016年7月6日(水)～8日(金)の3日間にかけて開催された「第3回ライブ&イベント産業展」に出展しました。

この展示会は、イベント業界向けの国内最大規模の展示会であり、ユニットハウスの実物を展示し、イベント関係者様に当社のユニットハウスをPRすることを目的としています。

3日間で約2万人の方々が展示会に来場され、当社のブースにおいても約2,000人のお客様にPRすることができました。

今後も、モバイルスペースのニーズが高まることが期待されるイベント業界に向けて、積極的にPR活動を続けてまいります。



## 当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>